

工 事 番 号									
設計年度	令和6年度		普通河川沼田川支川河川改良工事  三原市 新倉三丁目  <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">仕 様 書</div>						
施工月日	令和	年						月	日
施工方法	請 負								
工事期間									
工 事 概 要				起 工 理 由					
施工内容 施工延長 L=81m 土工 一式 排水工 L=76m 集水柵工 N=4箇所 構造物取壊し工 一式 仮設工 一式									

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、普通河川沼田川支川河川改良工事に適用する。
  - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
    - ・ **土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>  
・その他関連規格類

### 第2節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-24 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

### 第3節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

### 第4節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

### 第5節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
  - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第6節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」については、次のとおりとする。

### 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

### 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

### 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

### 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

### 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

1. 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあつては、当該許可を受けている。

2. 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

### 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

### 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

- 8 確認結果票の保管  
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求  
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。  
(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地  
(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名  
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地  
(4) 建設発生土の搬出量  
(5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付  
受注者は建設発生土の利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認  
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管  
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
- |      |              |
|------|--------------|
| 施工内容 | 全工種          |
| 時期   | 全工事期間        |
| 時間   | 関係機関との調整による。 |

### 第2節 用地

- 1 現場の復旧  
原形復旧とする。
- 2 工事中機資材の仮置き場所  
受注者が責任をもって確保すること。

### 第3節 公害対策

#### 1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督職員と協議の上調査すること。 (設計変更の対象とする。)
調査時期	施工前・施工中・施工後(1ヶ月以内)
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲	工事箇所から10m範囲

### 第4節 安全対策

#### 1 交通誘導員・警戒船・保安要員

作業期間、交通誘導員を1(人/日)見込んでいる。

### 第5節 建設副産物

#### 1 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時堆積))

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時堆積)のいずれかに搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時堆積)のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時堆積)への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

#### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外(建設工事現場以外の場所)において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

### 第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
築堤・護岸		式	1	レベル1
排水構造物工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
残土処理工		式	1	レベル3
排水工		式	1	レベル3
プレキャストU型側溝	U型側溝(各種) L=2000mm/本	m	76	レベル4
集水柵工		式	1	レベル3
1号接続柵	B500-L500-H500	箇所	3	レベル4
2号接続柵	B350-L500-H500	箇所	1	レベル4
洗堀対策工		式	1	レベル3
洗堀対策	【18-8-40BB】	式	1	レベル4
仕戻し工		式	1	レベル3
仕戻し工	【雑割石】	式	1	レベル4
管渠工		式	1	レベル3
管渠機能復旧	【VP150】	m	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル3
1号間詰工	【18-8-40BB】	式	1	レベル4

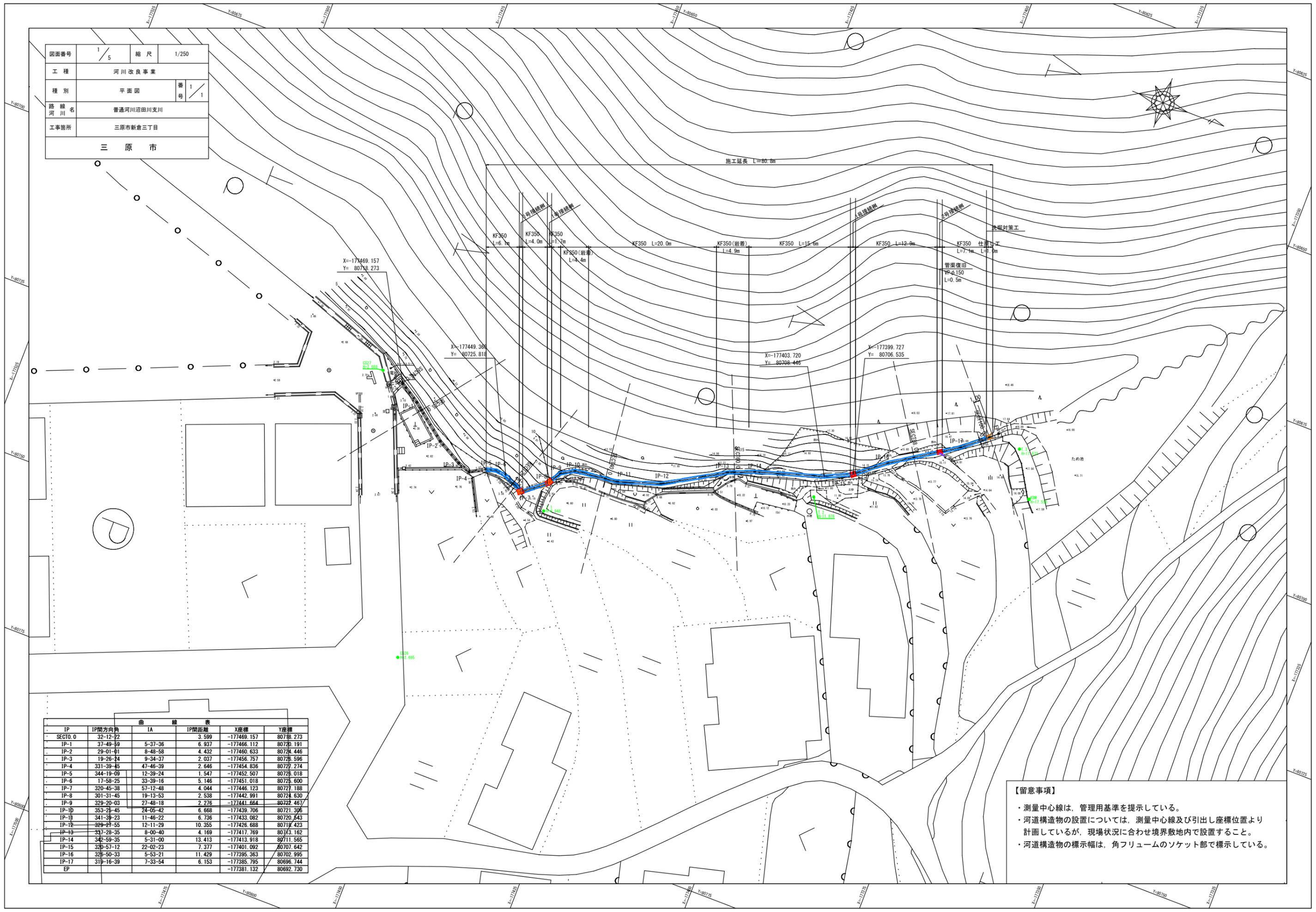
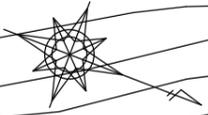
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
2号間詰工	【18-8-40BB】	式	1	レベル4
水撥対策(KF)	【18-8-40BB】	式	1	レベル4
水撥対策(桝蓋)	【縞鋼板 t = 6mm】	式	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【無筋コンクリート】	m3	1	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
仮設工		式	1	レベル2
工事用道路工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1/5	縮尺	1/250
工程	河川改良事業		
種別	平面図	番号	1/1
路線名	普通河川沼田川支川		
工事箇所	三原市新倉三丁目		
三原市			



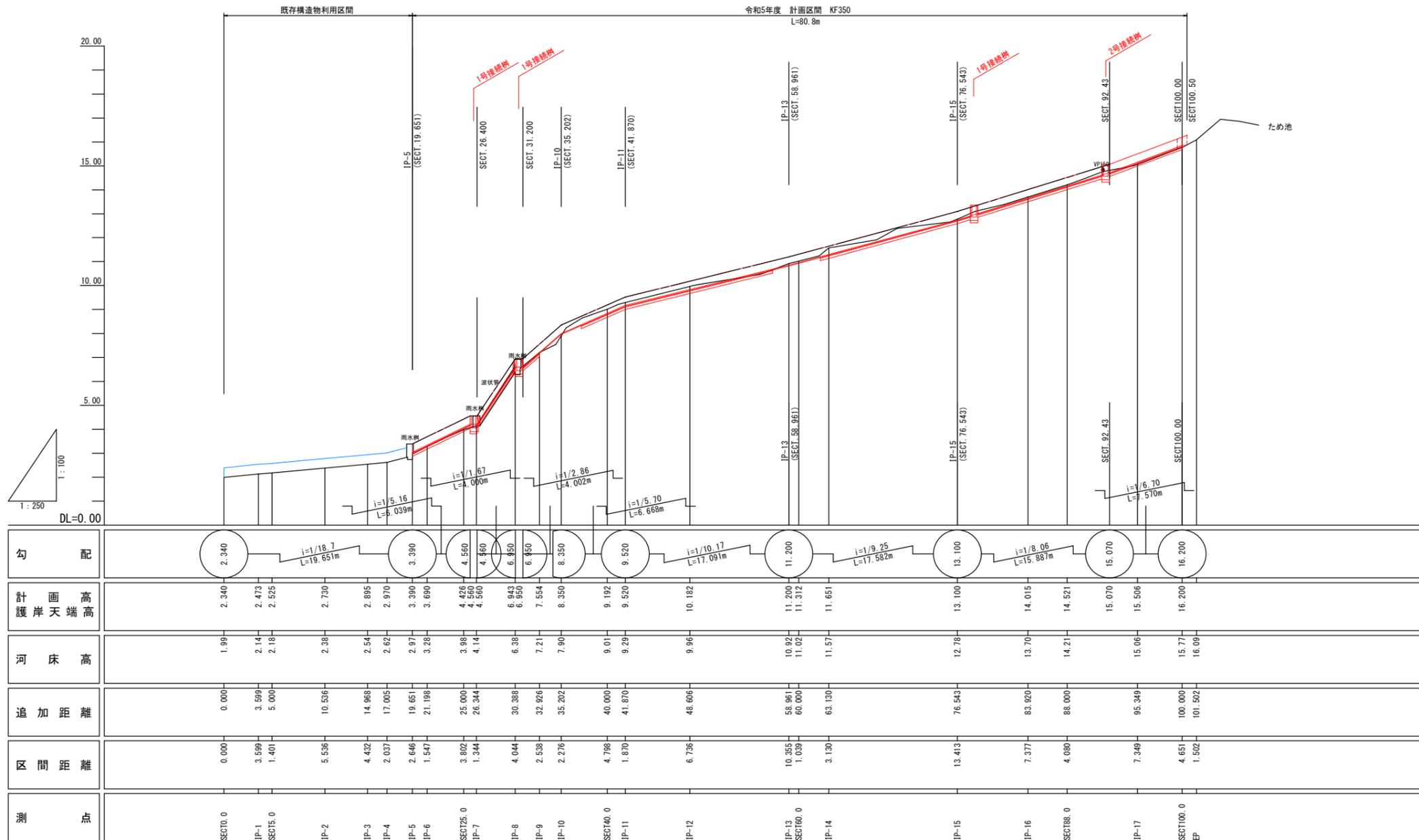
IP	IP間方向角	曲線表		X座標	Y座標
		IA	IP間距離		
SECT0.0	32-12-22		3.599	-177469.157	80718.273
IP-1	37-49-59	5-37-36	6.937	-177466.112	80720.191
IP-2	29-01-01	8-48-58	4.432	-177460.633	80724.446
IP-3	19-26-24	9-34-37	2.037	-177456.757	80726.596
IP-4	331-39-45	47-46-39	2.646	-177454.836	80727.274
IP-5	344-19-09	12-39-24	1.547	-177452.507	80726.018
IP-6	17-58-25	33-39-16	5.146	-177451.018	80726.600
IP-7	320-45-38	57-12-48	4.044	-177446.123	80727.188
IP-8	301-31-45	19-13-53	2.538	-177442.991	80724.630
IP-9	329-20-03	27-48-18	2.276	-177441.664	80722.467
IP-10	353-25-45	24-05-42	6.668	-177439.706	80721.306
IP-11	341-39-23	11-46-22	6.736	-177433.082	80720.543
IP-12	329-27-55	12-11-29	10.355	-177426.688	80719.423
IP-13	337-28-35	8-00-40	4.169	-177417.769	80713.162
IP-14	342-59-35	5-31-00	13.413	-177413.918	80711.565
IP-15	320-57-12	22-02-23	7.377	-177401.092	80707.642
IP-16	326-50-33	5-53-21	11.429	-177395.363	80702.995
IP-17	319-16-39	7-33-54	6.153	-177385.795	80696.744
EP				-177381.132	80692.730

**【留意事項】**

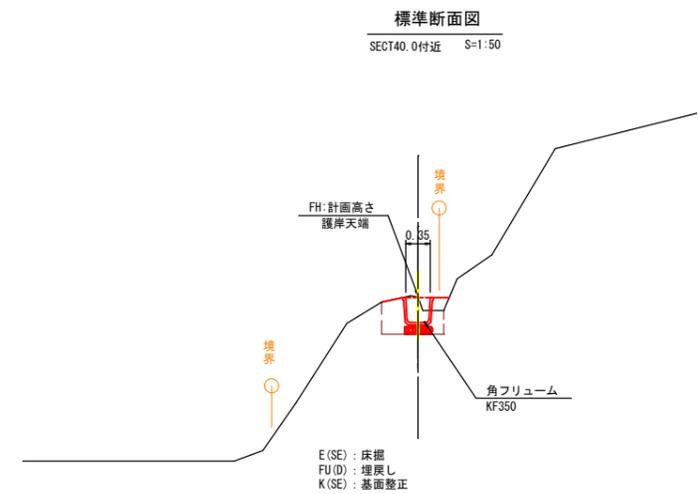
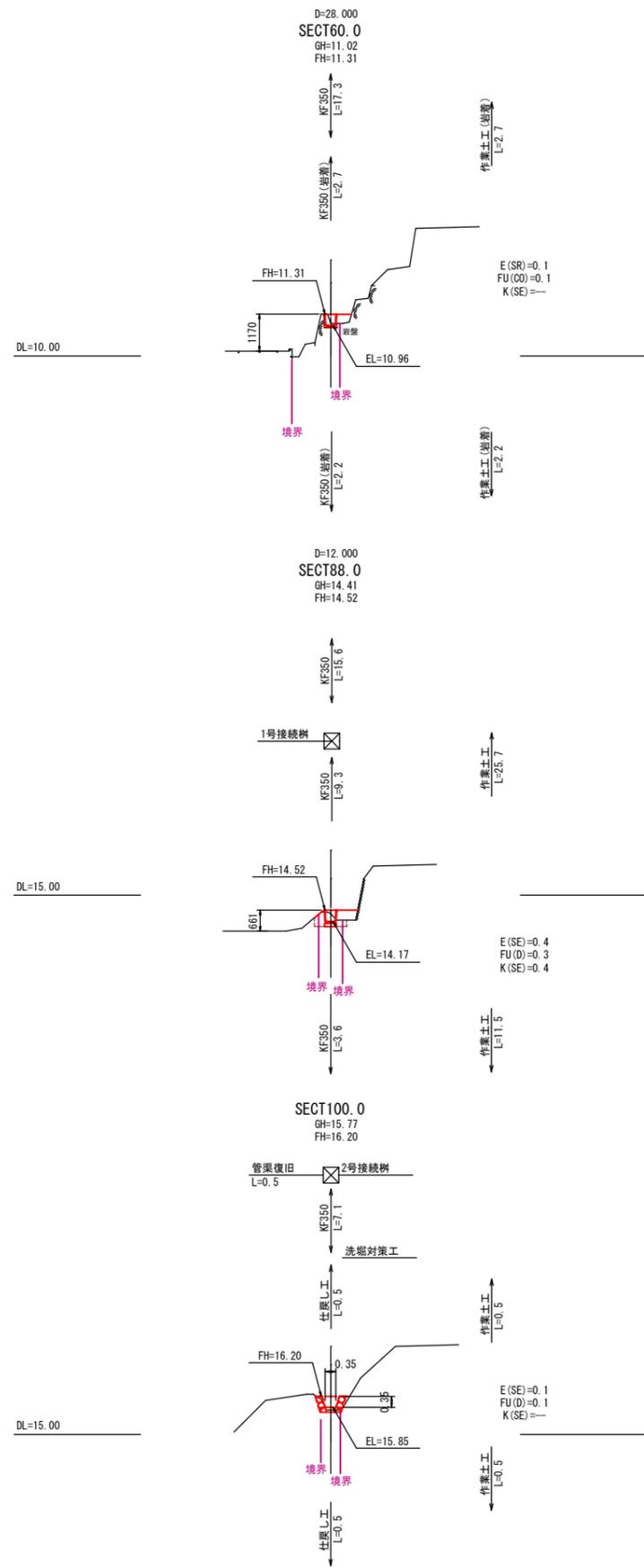
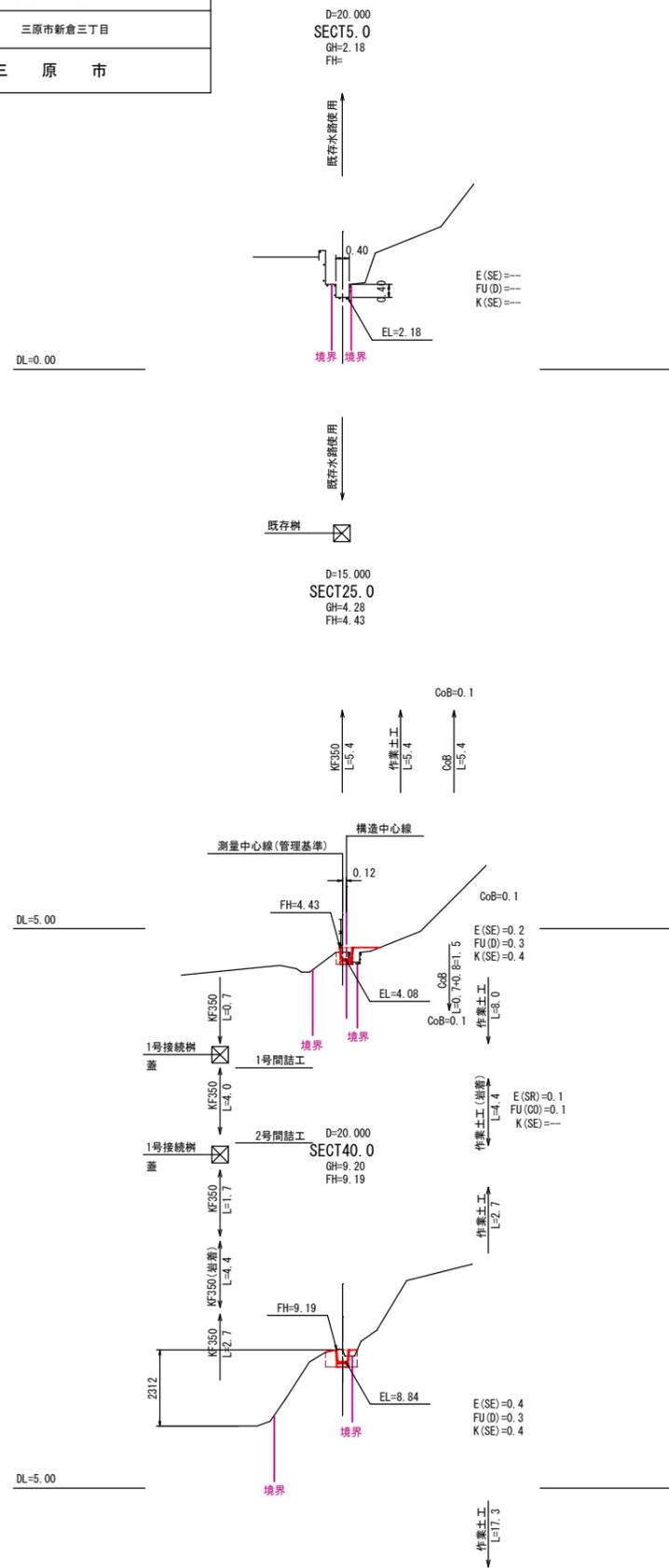
- ・測量中心線は、管理用基準を提示している。
- ・河道構造物の設置については、測量中心線及び引出し座標位置より計画しているが、現場状況に合わせ境界敷地内で設置すること。
- ・河道構造物の標示幅は、角フリュームのソケット部で標示している。

図面番号	2 / 5	縮尺	V=1/100 H=1/250
工程	河川改良事業		
種別	縦断面	番号	1 / 1
路線名	普通河川沼田川支川		
工事箇所	三原市新倉三丁目		
三原市			

KBM H=17.558



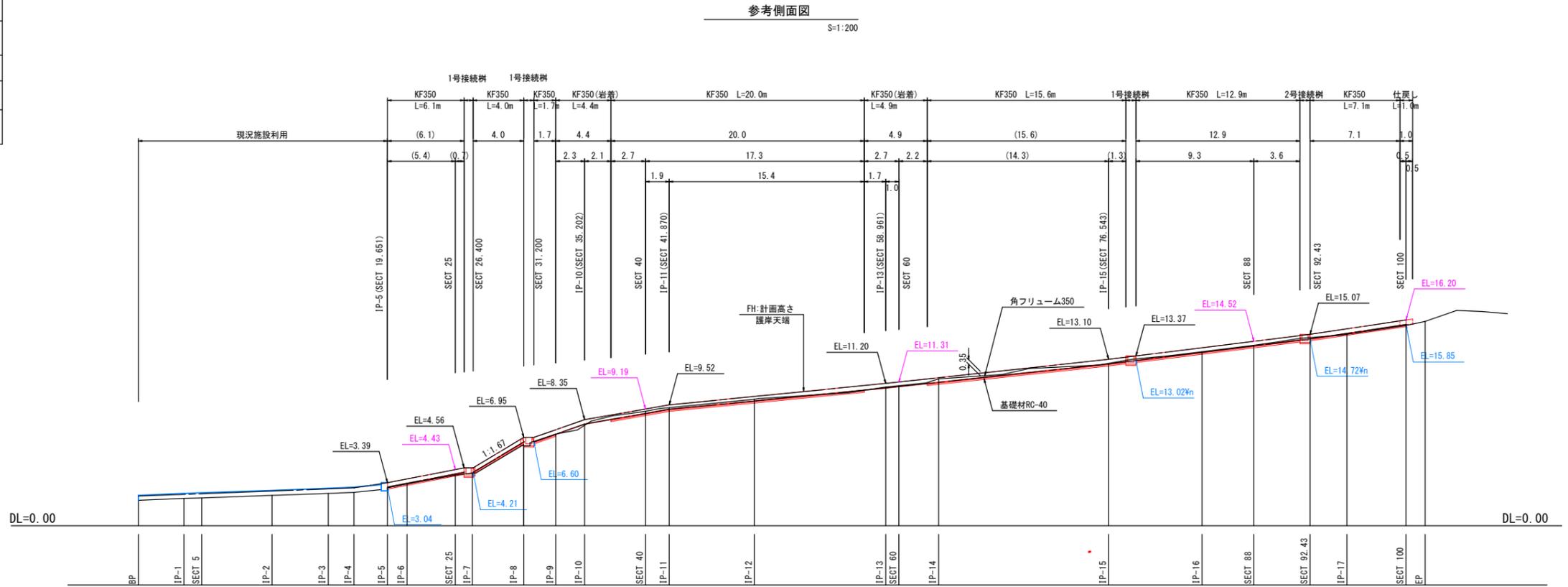
図面番号	3 / 5	縮尺	1/100
工程	河川改良事業		
種別	横断面	番号	1 / 1
路線名	普通河川沼田川支川		
工事箇所	三原市新倉三丁目		
三原市			



**【留意事項】**

- ・測量中心線は、管理用基準を提示している。(SECT25断面参照)
- ・河道構造物の設置については、測量中心線及び引出し座標位置より計画しているが、現場状況に合わせて境界敷地内で設置すること。
- ・河道構造物の標示幅は、角フリーユームのソケット部で標示している。

図面番号	4 / 5	縮尺	図示
工程	河川改良事業		
種別	側面図・構造図	番号	1 / 1
路線名	普通河川沼田川支川		
工事箇所	三原市新倉三丁目		
三原市			

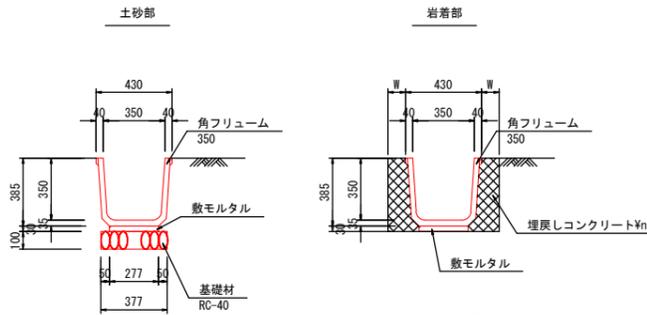


構造図

図示

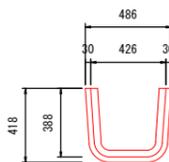
角フリューム

KF350 S=1:20



埋戻しコンクリート数量は、断面数量で計上している。

参考ソケット部



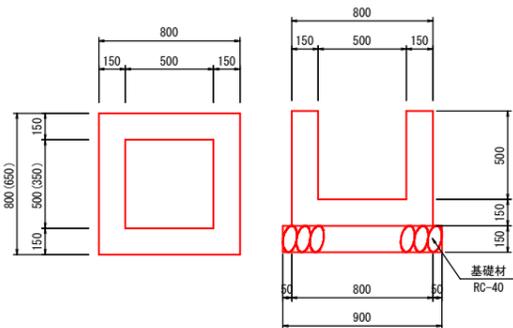
数量表

10m当り

種別	規格	算式	単位	数量
角フリューム	KF350	10.0÷2.0	個	5.000
敷モルタル	1:3	0.277×0.03×10.0	m <sup>2</sup>	0.083
基礎材	RC-40, t=100mm	0.377×10.0	m <sup>2</sup>	3.770

接続樹

B500-L500-H500:1号 S=1:20  
(B350-L500-H500):2号



( )内は、B350-L500-H500:2号の値を示す

数量表

B500-L500-H500

1箇所当り

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.80 \times 0.80 \times 0.65 - 0.50 \times 0.50 \times 0.50$	m <sup>3</sup>	0.291
型枠		$(0.80 + 0.50) \times 4 \times 0.65$	m <sup>2</sup>	3.380
基礎材	RC-40, t=150mm	$0.9 \times 0.9$	m <sup>2</sup>	0.810

数量表

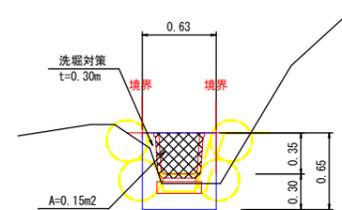
B350-L500-H500

1箇所当り

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.65 \times 0.80 \times 0.65 - 0.35 \times 0.50 \times 0.50$	m <sup>3</sup>	0.251
型枠		$((0.80 + 0.50) + (0.65 + 0.35)) \times 2 \times 0.65$	m <sup>2</sup>	2.990
基礎材	RC-40, t=150mm	$0.75 \times 0.9$	m <sup>2</sup>	0.675

洗堀対策

S=1:30



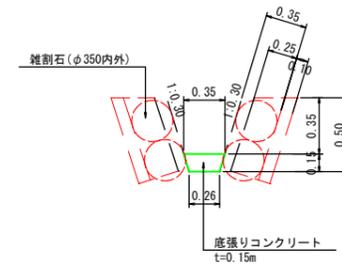
数量表

1箇所当り

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.63 \times 0.65 - 0.15) \times 0.30$	m <sup>3</sup>	0.078
型枠		$0.63 \times 0.65 \times 2$	m <sup>2</sup>	0.819

仕戻し工

S=1:30

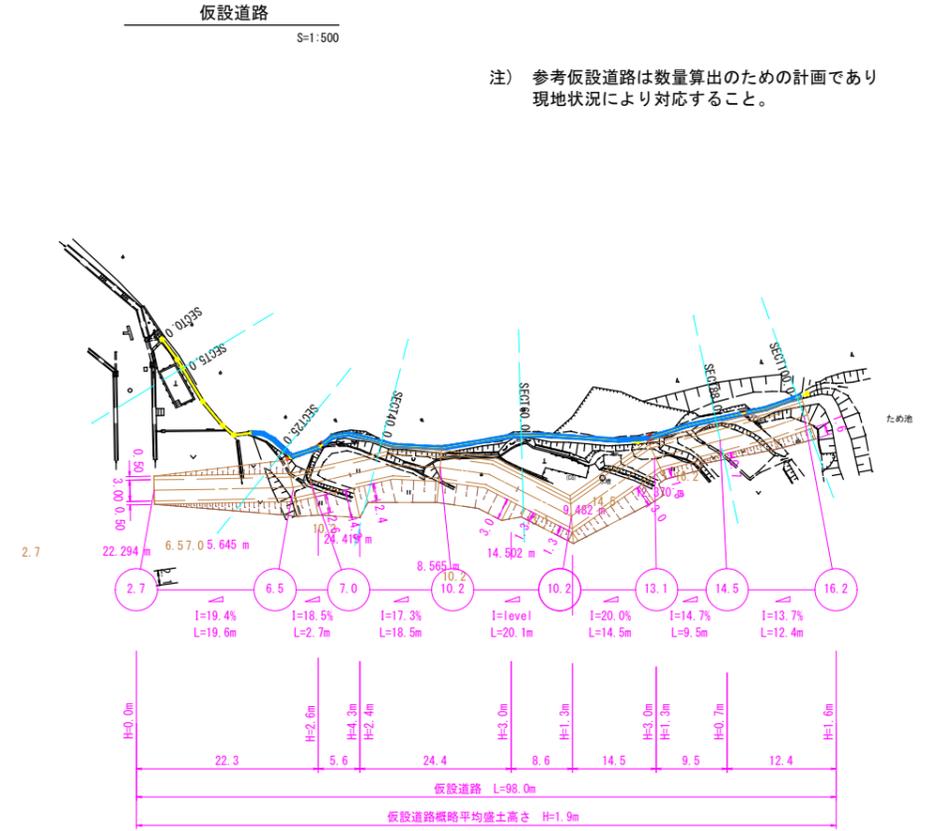
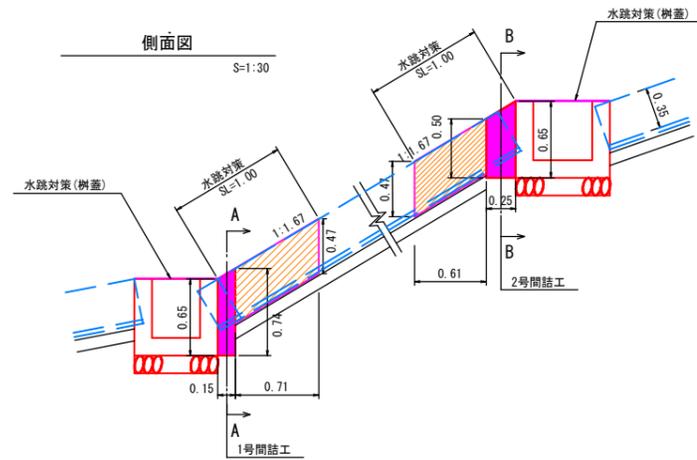
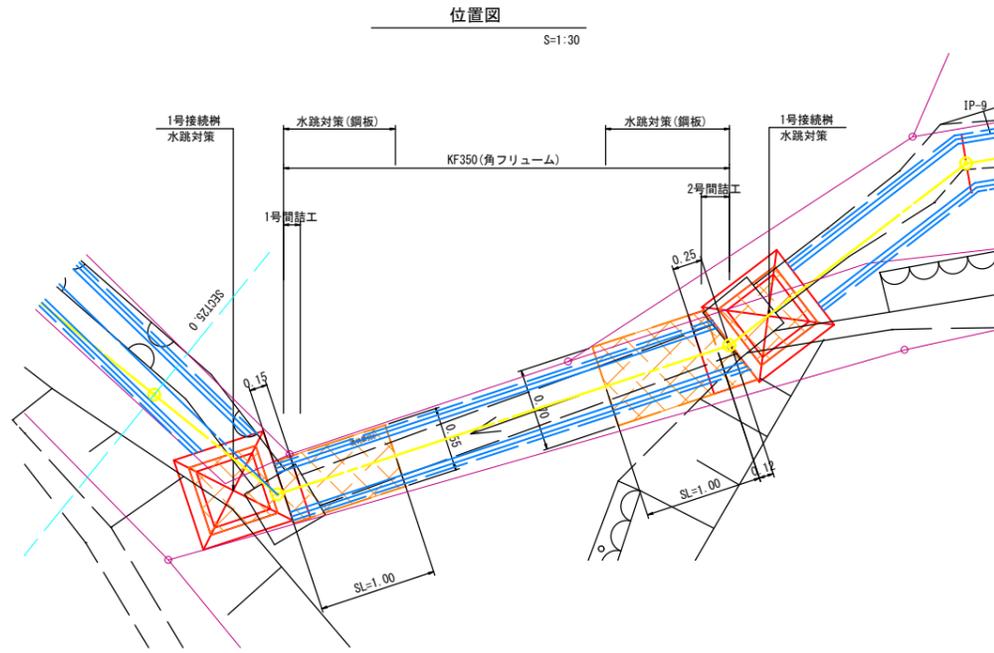


数量表

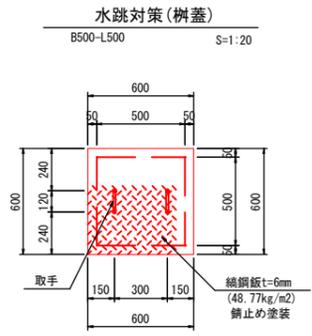
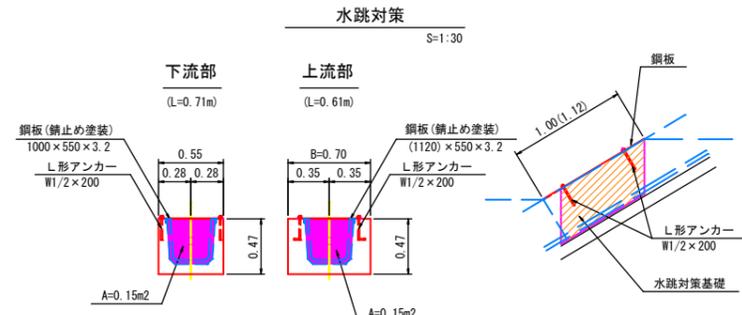
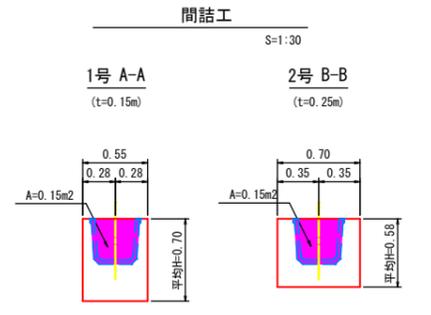
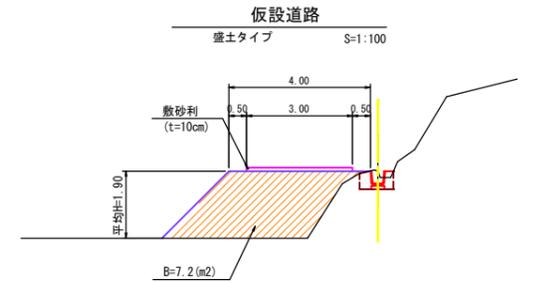
1箇所(1m)当り

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1/2 \times (0.26 + 0.35) \times 0.15 \times 1.0$	m <sup>3</sup>	0.046
型枠 (表部)		$1/2 \times (0.26 + 0.35) \times 0.15 \times 2$	m <sup>2</sup>	0.092
雑割石		$0.50 \times 1.044 \times 2 \times 1.0$	m <sup>2</sup>	1.044

図面番号	5/5	縮尺	図示
工 程	河川改良事業		
種 別	一般図	番 号	1/1
路 線 名	普通河川沼田川支川		
工事箇所	三原市新倉三丁目		
三 原 市			



注) 参考仮設道路は数量算出のための計画であり  
現地状況により対応すること。



数量表 1号 (H=0.70) 1箇所当り

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.55 \times 0.70 - 0.15) \times 0.15$	m <sup>3</sup>	0.035
型枠		$0.70 \times 0.15 \times 2 + 0.55 \times 0.74$	m <sup>2</sup>	0.617

数量表 2号 (H=0.58) 1箇所当り

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.70 \times 0.58 - 0.15) \times 0.25$	m <sup>3</sup>	0.064
型枠		$0.58 \times 0.25 \times 2 + 0.70 \times 0.50$	m <sup>2</sup>	0.640

数量表 下流側 1箇所当り

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.55 \times 0.47 - 0.15) \times 0.71$	m <sup>3</sup>	0.077
型枠		$0.47 \times 0.71 \times 2 + 0.55 \times 0.47$	m <sup>2</sup>	0.926
鋼板	$1000 \times 550 \times 3.2$	$(1.00 \times 0.55) \times 25.12$ 上流側	kg	13.816
L形アンカー	W1/2 x 200		本	4.000

数量表 上流側 1箇所当り

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.70 \times 0.47 - 0.15) \times 0.61$	m <sup>3</sup>	0.109
型枠		$0.47 \times 0.61 \times 2 + 0.70 \times 0.47$	m <sup>2</sup>	0.902
鋼板	$(1120) \times 550 \times 3.2$	$(1.12 \times 0.55) \times 25.12$ 下流側	kg	15.543
L形アンカー	W1/2 x 200		本	4.000

数量表 1枚当り

種別	規格	算式	単位	数量
縦鋼板	t=6mm	$48.77 \times (0.60 \times 0.60)$	kg	17.557
すべり止め(参考)	L=50mm			
等辺山形鋼	30 x 30 x 5 (4隅)	$2.16 \times (0.05 \times 4)$	kg	0.432

# 参 考 资 料

—普通河川沼田川支川河川改良工事—

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-06.07.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	01 河川工事 00 補正なし 00 補正なし 03 4週8休以上 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
築堤・護岸					Y1A01 レベル1
	1	式			
排水構造物工					Y1C0112 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1A010201 レベル3
	1	式			
床掘り 【土砂等】					Y1A01020102 レベル4
	31	m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK23040015 00
	30	m3			単第0 -0001 表
床掘り 岩塊・玉石 現場制約あり					SPK23040015 00
	1	m3			単第0 -0002 表
埋戻し 【土砂、コンクリート】					Y1A01020103 レベル4
	31	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK23040020 00
	30	m3			単第0 -0003 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1	m3			SPK23040154 00  単第0 -0004 表
残土処理工	1	式			Y1A010108 レベル3
土砂等運搬 岩塊、玉石混り土	4	m3			Y1A01010102レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)	4	m3			SPK23040002 00  単第0 -0005 表
残土等処分	4	m3			Y1A01010803レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂質土・礫質土	3	m3			F000000100 00
残土処分費 軟岩	1	m3			F000000200 00
排水工	1	式			Y1E010908 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
プレキャストU型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	76	m			Y1A01111401 レベル4
角フリューム 350 L=2000mm/本 土砂基礎	67	m			SDT00013 00 単第0 -0006 表
角フリューム 350 L=2000mm/本 岩着基礎	9	m			SDT00013 00 単第0 -0007 表
集水柵工	1	式			Y1A0111115 レベル3
1号接続柵 B500-L500-H500	3	箇所			Y1L06081607 レベル4
1号接続柵 B500-L500-H500	3	箇所			V000000100 00 単第0 -0008 表
2号接続柵 B350-L500-H500	1	箇所			Y1L06081607 レベル4
2号接続柵 B350-L500-H500	1	箇所			V000000200 00 単第0 -0012 表
洗堀対策工	1	式			Y1A0111114 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
洗堀対策 【18-8-40BB】	1	式			Y1A01070404 レベル4
洗堀対策	1	箇所			V000000300 00 単第0 -0013 表
仕戻し工	1	式			Y1A010708 レベル3
仕戻し工 【雑割石】	1	式			Y1A01071005 レベル4
仕戻し工	1	箇所			V000000400 00 単第0 -0014 表
管渠工	1	式			Y1C011205 レベル3
管渠機能復旧 【VP150】	1	m			Y1A01111408 レベル4
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径150mm	1	m			SPK23040092 00 単第0 -0016 表
付帯工	1	式			Y1A011114 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
1号間詰工 【18-8-40BB】	1	式			Y1A03080701 レベル4
1号間詰工	1	式			V000000500 00 単第0 -0017 表
2号間詰工 【18-8-40BB】	1	式			Y1A03080701 レベル4
2号間詰工	1	式			V000000600 00 単第0 -0018 表
水撥対策(KF) 【18-8-40BB】	1	式			Y1A03080701 レベル4
水撥対策(KF)	1	式			V000000700 00 単第0 -0019 表
水撥対策(桟蓋) 【縞鋼板 t = 6mm】	1	式			Y1A03080701 レベル4
水撥対策(桟蓋) 縞鋼板 600 × 600 × 6.0 17.557kg	1	枚			F000000700 00
構造物撤去工	1	式			Y1A0114 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工	1	式			Y1A011406 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【無筋コンクリート】	1	m3			Y1A01140601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0021 表
運搬処理工	1	式			Y1A011416 レベル3
殻運搬 【無筋コンクリート】	1	m3			Y1A01141601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	1	m3			SPK23040152 00 単第0 -0022 表
殻処分 【無筋コンクリート】	1	m3			Y1A01141602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費 無筋コンクリート	2	t			F000000800 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1A0115 レベル2
	1	式			
工事用道路工					Y1A011501 レベル3
	1	式			
工事用道路盛土 【W=4.0m】					Y1A01150101 レベル4
	710	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し					SPK23040004 00
	710	m3			単第0 -0023 表
流用土					Y1L01010201 レベル4
	780	m3			
流用土					V000000900 00
	780	m3			単第0 -0024 表
敷砂利 【RC40, t = 10cm】					Y1A01150103 レベル4
	30	m3			
敷砂利 再生砕石を使用する					S0283 00
	30	m3			単第0 -0027 表
掘削 【土砂】 【障害の有無,施工数量】					Y1A01010202 レベル4
	740	m3			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	740	m3			SPK23040001 00  単第0 -0029 表
土砂等運搬 【土砂】	740	m3			Y1A01010102レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)	740	m3			SPK23040002 00  単第0 -0030 表
残土等処分	740	m3			Y1A01010803レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂質土・礫質土	740	m3			F000000100 00
交通管理工	1	式			Y1A011521 レベル3
交通誘導警備員	15	人			Y1A01152101レベル4
交通誘導警備員A	15	人			R0368 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**工事費計**					
**契約保証費計**					

# 施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 20.81%

労務構成比: 71.39%

材料構成比: 7.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,046.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		



# 施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0003 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.91%

労務構成比: 85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,655.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.30%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.61%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		



# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0004 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.46%

材料構成比: 70.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

23,369.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.68%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	70.54%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=1 養生無し J=1 -		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0005 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 25.13% 労務構成比:

61.92% 材料構成比: 12.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,726.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=39 距離10.0km以下(7.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		







# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0009 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

44.86%

材料構成比:

55.14%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

29,616.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0010 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,042.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

# 施工単価表

基礎碎石

SPK23040034

単第0 -0011 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.53% 労務構成比: 71.60%

材料構成比: 22.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,217.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.50%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	17.73%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013









# 施工単価表

石積(張)

SPK23040063

単第0 -0015 表

積工

練石 雑割石

1

m2 当り

機械構成比: 6.79%

労務構成比: 89.94%

材料構成比: 3.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

12,505.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.79%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	48.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
石工	15.28%		石工		RTPC00017 RTPT00017
土木一般世話役	4.23%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 積工 C=2 雑割石			B=1 練石		

# 施工単価表

暗渠排水管

据付 直管 50 ~ 150mm

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

SPK23040092

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径150mm

46.04% 材料構成比: 53.96%

単第0 -0016 表

1  
標準単価:

m 当り

608.45000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JIS K6741)PE 呼び径150(165×8.9) 参考質量6.701kg/m	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0396 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=46 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径150mm I=1 -(全ての費用)		











# 施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0022 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,443.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

# 施工単価表

路体(築堤)盛土  
 施工幅員4.0m以上

SPK23040004

単第0 -0023 表

施工数量10,000m3未満 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 18.74% 労務構成比:

64.69% 材料構成比: 16.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

214.13000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	11.51%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.23%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	43.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.57%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1 施工数量10,000m3未満		



# 施工単価表

積込(ルーズ)

SPK23040007

単第0 -0025 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.49%

労務構成比:

35.67%

材料構成比:

19.84%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

229.05000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	44.49%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3)		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	35.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.84%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0026 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

720.47000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		





# 施工単価表

掘削  
土砂 オープンカット 押土無し

SPK23040001

単第0 -0029 表

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 45.14% 労務構成比:

34.64%

材料構成比: 20.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

317.66000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	45.14%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	34.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	20.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0030 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,496.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=28 距離9.5km以下(7.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

## 沼田川支線(新倉3丁目)

## 数量総括表

(1/1)

工種	種別	細別	規格	単位	計算過程の数値	設計計上数値	摘要
排水構造物工							
	作業土工						
		床掘	土砂	m <sup>3</sup>	34.9	30	
			軟岩1	m <sup>3</sup>	0.9	1	
		埋戻	D	m <sup>3</sup>	28.8	30	
			コンクリート	m <sup>3</sup>	0.9	1	
		基面修正		m <sup>2</sup>	30.3	30	
	残土処理工						
		残土処分	土砂	m <sup>3</sup>	2.9	3	地山土量
			軟岩1	m <sup>3</sup>	0.9	1	"
	側溝工						
		KF350	土砂基礎	m	67.4	67	
			岩着基礎	m	9.3	9	
	集水樹工						
		1号接続樹	B500-L500-H500	箇所	3.0	3	
		2号接続樹	B350-L500-H500	箇所	1.0	1	
	洗堀対策工						N=1
		洗堀対策	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.1	0.1	
			型枠	m <sup>2</sup>	0.8	1	
	仕戻し工						
		仕戻し工	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.1	0.1	
			型枠	m <sup>2</sup>	0.1	0.1	
			雑割石φ350内外	m <sup>2</sup>	1.0	1	
	管渠工						
		管渠機能復旧	VP150	m	0.5	1	
	付帯工						
		1号間詰工	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.04	0.1	
			型枠	m <sup>2</sup>	0.6	1	
		2号間詰工	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.1	0.1	
			型枠	m <sup>2</sup>	0.6	1	
		水撥対策(KF)	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.2	0.2	N=2
			型枠	m <sup>2</sup>	1.8	2	
			鋼板	枚	2.0	2	
			L型アンカー	本	8.0	8	
		水撥対策(樹蓋)	縞鋼板(600-600-6)	t	0.036	0.1	N=2
構造物撤去工							
	構造物取壊し工						
		コンクリート取壊し		m <sup>3</sup>	0.7	1	
		般運搬処理	コンクリート	t	1.6	2	W=0.7×2.35
【参考数量】							
	仮設道路						L=98.0m
		仮設盛土		m <sup>3</sup>	705.6	710	
		流用土		m <sup>3</sup>	784.0	780	
		敷砂利	t=10cm	m <sup>3</sup>	29.4	30	
		残土処分		m <sup>3</sup>	735.0	740	
	交通管理工						
		交通誘導警備員		人	4.0	4	

# 土量配分表

掘削	掘削工種	地山数量

床掘	床掘区分	地山数量
	土砂	34.9
軟岩	0.9	

不用土	項目	地山数量

流用計画	変化率による換算	換算土量
	32.0 × 0.90 =	28.8
捨土計画		

盛土	盛土工種	盛土数量	盛土工種	盛土数量
盛土量 合計				

埋戻し	埋戻し区分	埋戻し数量	埋戻し区分	埋戻し数量
				D
埋戻し 合計		28.8		

-                      -                      32.0    +    34.9

残土処分	項目	地山数量
	土砂	2.9
軟岩	0.9	

# 土 工

# 数量集計表

名称及び測点	床掘		埋戻し		基面整正			
	土砂	軟岩	土砂	CO	土砂			
			D					
単 位	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>			
水路	24.7	0.9	20.6	0.9	27.2			
1号接榫	7.8		6.2		2.4			
2号接榫	2.4		2.0		0.7			
	34.9	0.9	28.8	0.9	30.3			





## 作 業 土 工

## 数 量 計 算 書

測 点	距 離	基面修正						摘 要
		断面	平均	面積	断面	平均	立積	
		0.4	-----	-----				
SECT25.0	5.4	0.4	0.40	2.2				
	8.0	0.4	0.40	3.2				
	4.4							
SECT40.0	2.7	0.4	-----	-----				
	17.3	0.4	0.40	6.9				
SECT60.0	2.7							
	2.2							
		0.4	-----	-----				
SECT88.0	25.7	0.4	0.40	10.3				
	11.5	0.4	0.40	4.6				
SECT100.0	0.5							仕戻し部
	0.5							
合 計				27.2				





## 排水構造物工

## 数量計算書

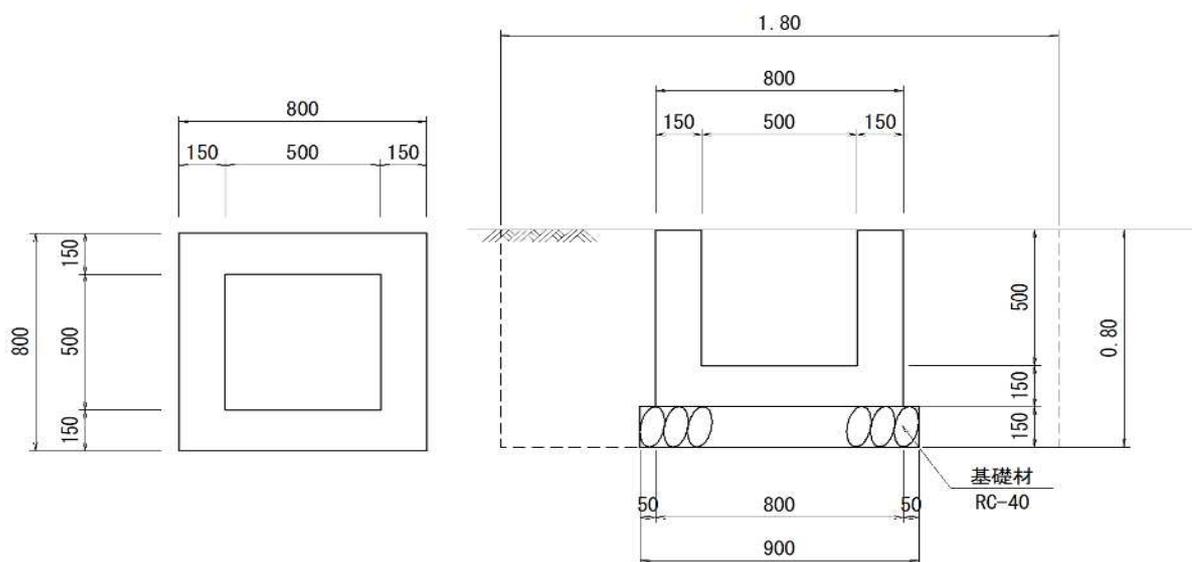
KF350		KF350(岩着)		仕戻し工	
測点	延長	測点	延長	測点	延長
SECT25.0	5.4	SECT37	4.4	SECT100	0.5
	0.7	計	4.4		0.5
計	6.1			計	1.0
		SECT60.0	2.7		
SECT30.4	4.0		2.2		
計	4.0	計	4.9		
SECT32.9	1.7				
計	1.7				
SECT40.0	2.7				
	17.3				
計	20.0				
SECT77.9	15.6				
計	15.6				
SECT88.0	9.3				
	3.6				
計	12.9				
SECT99.5	7.1				
計	7.1				
合計	67.4	合計	9.3	合計	1.0





# 1号接続桧

# 数量計算書



寸法 B500-L500-H500

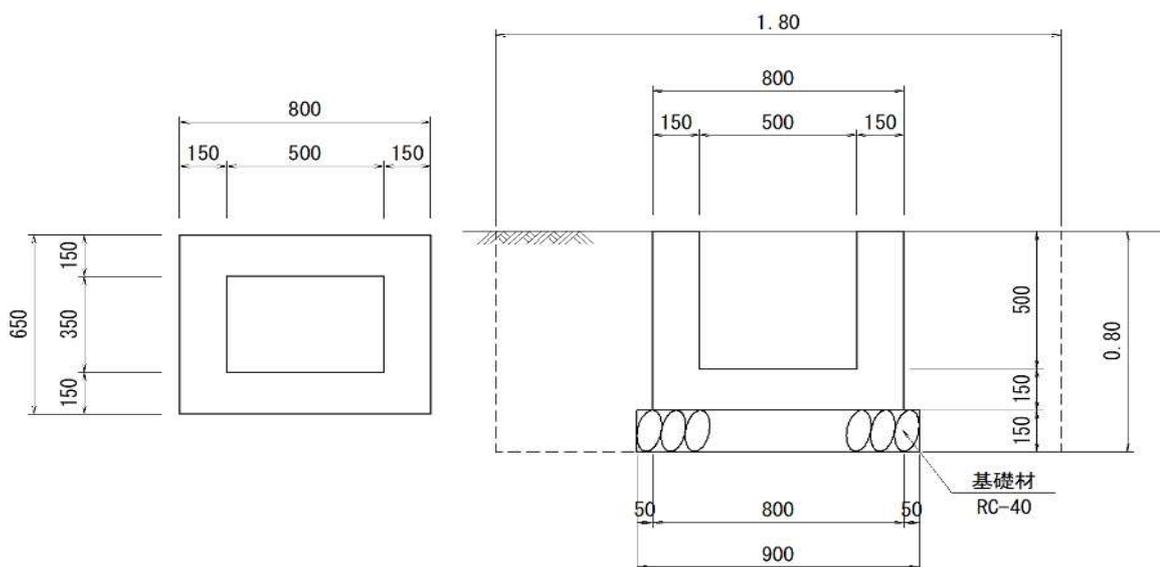
躯体 掘削幅

B	0.50	0.80	1.80
L	0.50	0.80	1.80

名称	規格	計算式	1基当り	箇所	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$	構造図より	0.291	3.0	0.9	$\text{m}^3$
型枠		//	3.380	3.0	10.1	$\text{m}^2$
基礎材	RC-40,t=0.15m	//	0.810	3.0	2.4	$\text{m}^2$
作業土工						
床掘		$1.8 \times 1.8 \times 0.8$	2.59	3.0	7.8	$\text{m}^3$
埋戻し		$2.6 - (0.8^2 \times 0.65 + 0.9^2 \times 0.15)$	2.06	3.0	6.2	$\text{m}^3$
基面整正		$0.9 \times 0.9$	0.81	3.0	2.4	$\text{m}^2$

## 2号接続桧

## 数量計算書



寸法 B350-L500-H500

躯体    掘削幅

B	0.35	0.65	1.65
L	0.50	0.80	1.80

名称	規格	計算式	1基当り	箇所	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$	構造図より	0.251	1.0	0.3	$\text{m}^3$
型枠		//	2.990	1.0	3.0	$\text{m}^2$
基礎材	RC-40,t=0.15m	//	0.675	1.0	0.7	$\text{m}^2$
作業土工						
床掘		$1.8 \times 1.65 \times 0.8$	2.38	1.0	2.4	$\text{m}^3$
埋戻し		$2.4 - (0.8 \times 0.65 \times 0.65 + 0.9 + 0.75 \times 0.15)$	1.96	1.0	2.0	$\text{m}^3$
基面整正		$0.9 \times 0.75$	0.68	1.0	0.7	$\text{m}^2$



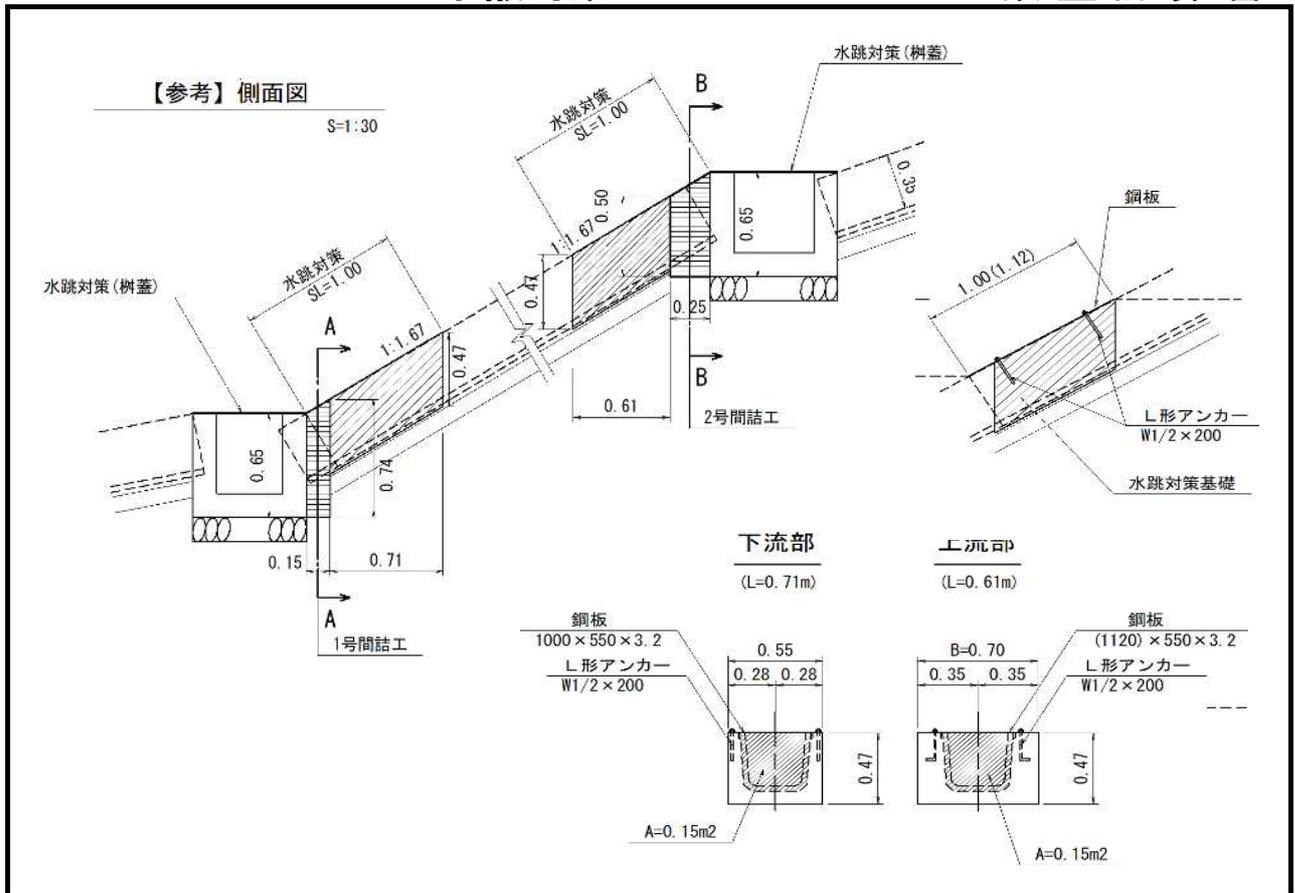






# 水撥対策

# 数量計算書



名称	規格	計算式	数量	単位
<b>【水撥対策:下】</b>				
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$	構造図より	0.077	$\text{m}^3$
型枠		〃	0.926	$\text{m}^2$
鋼板	1000 × 550 × 3.2	〃	1.000	枚
L型アンカー	W1/2 × 200	〃	4.000	本
<b>【水撥対策:上】</b>				
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$	構造図より	0.109	$\text{m}^3$
型枠		〃	0.902	$\text{m}^2$
鋼板	1120 × 550 × 3.2	〃	1.000	枚
L型アンカー	W1/2 × 200	〃	4.000	本
<b>【合計】</b>				
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$	0.077 + 0.109	0.186	$\text{m}^3$
型枠		0.926 + 0.902	1.828	$\text{m}^2$
鋼板	1120 × 550 × 3.2	1.000 + 1.000	2.000	枚
L型アンカー	W1/2 × 200	4.000 + 4.000	8.000	本



構 造 物 取 壊 工

数 量 集 計 表

名 称 及 び 測 点	コンクリート取壊し							
単 位	m <sup>3</sup>							
水路部	0.7							
	0.7							

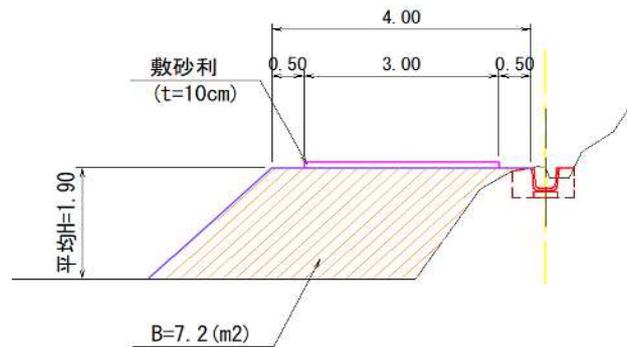
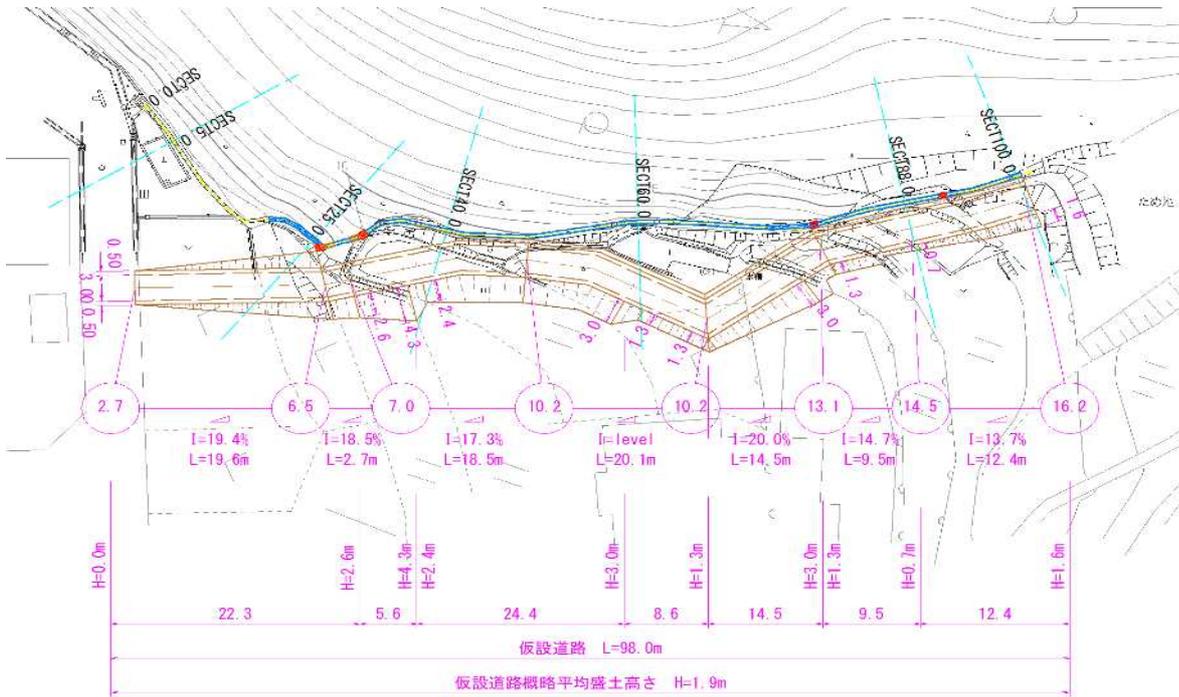


参考 仮設工

数量集計表

名称及び測点	仮設道路					残土処分		
	盛土	流用土	敷砂利					
	平均H=1.9m		t=10cm					
単 位	延長	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>				
新倉三丁目	98.0	705.6	784.0	29.4	705.6			
					29.4			
	98.0	705.6	784.0	29.4	735.0			

# 数量算出根拠図



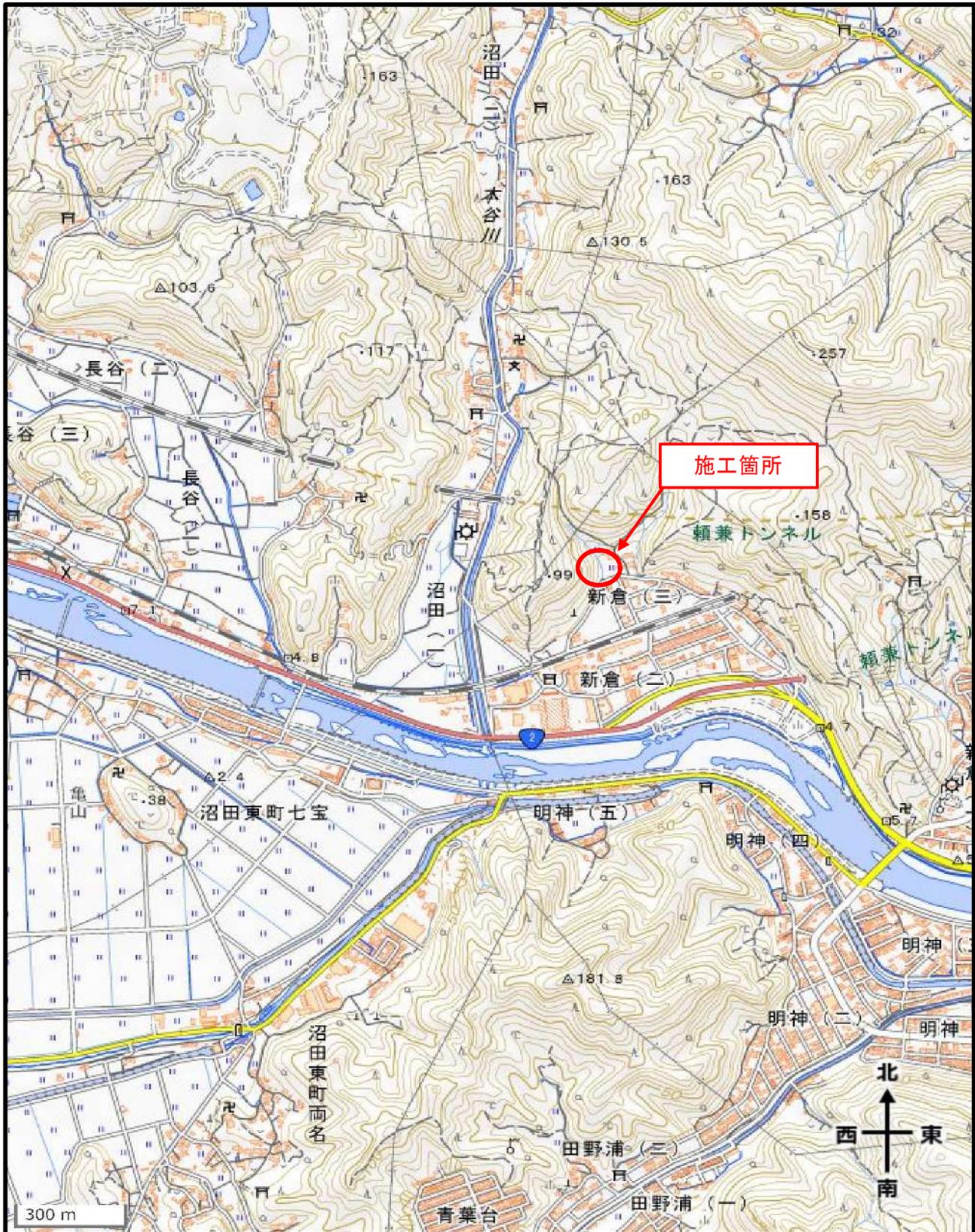
平均盛土高さ H= 1.9 m  
 仮設道路延長 L= 98.0 m

盛土 (土砂)	$7.2 \times 98.0 =$	705.6 m <sup>3</sup>
流用土	$705.6 / 0.9 =$	784 m <sup>3</sup>
敷砂利 (10cm)	$3.0 \times 98.0 =$	294.0 m <sup>2</sup>
	$294.0 \times 0.10 =$	29.4 m <sup>3</sup>
残土処分	$705.6 + 29.4 =$	735.0 m <sup>3</sup>



# 位置図

34.3942698、133.0470838



この図は、国土地理院地図を利用している。